

第 125 回サイエンス・カフェ札幌

「時をかけるゲノム～膨大な遺伝情報からたどるヤポネシア人の起源～」を開催

【概要】

北海道大学大学院教育推進機構オープンエデュケーションセンター科学技術コミュニケーション教育研究部門 (CoSTEP) は、第 125 回サイエンス・カフェ札幌を開催します。今回のテーマは「遺伝」。

「ヒトはどこから来て、どう発展を遂げてきたのか。」こんなことを一度は考えたことがあるのではないのでしょうか。本学大学院情報科学研究院の長田直樹（おさだなおき）准教授をゲストに招き、その謎について DNA の情報に基づく最新研究から語っていただきます。なお、紀伊國屋書店札幌本店での開催となります。

【趣旨】

長田准教授は、「ヤポネシアゲノム」と名付けられた文部科学省の新学術領域研究に参加し、ヤポネシア人（日本列島人）の起源と成立を、現代人と古代人のゲノム配列の比較解析から解明する研究に携わっています。そして現代人と古代人の類縁関係や進化の道筋を探り、人類進化の秘密に迫ろうとしています。現在、ゲノム科学、考古学、

言語学などの共同作業によって歴史的に日本列島に居住していたヤポネシア人の起源と成立・移動の過程について多くの発見があり、先祖について空想に近かった疑問に対して科学的な説明ができるようになっていきます。

ゲノムとは、私たちヒトの体の細胞の中にあるひも状の物質、「DNA」に記録されているすべての遺伝情報のことです。ヒトゲノム計画完了宣言後、ゲノム解析の手法は大きく進歩し、検査処理を自動化する機械技術や解析を行う PC などの情報機器も大きく発展しました。研究者は、研究素材として大量のデータを用いて、さまざまな仮説を PC 上で試すことができるようになっていきます。

大量のゲノム情報から「古代人」の秘密に迫ることができたら？「古代人」の歴史や暮らしを「ゲノム」からひも解く…？「どこから来て、どこに向かうのか？」、今まで知らなかった「私たち」の過去や未来が明らかになる予感。長田准教授と一緒にゲノムからわかる人類進化の歴史に迫ってみませんか。

【タイトル】 第 125 回サイエンス・カフェ札幌
「時をかけるゲノム～膨大な遺伝情報からたどるヤポネシア人の起源～」

【日 程】 2022 年 9 月 18 日（日）14:30～16:00

【場 所】 紀伊国屋書店 札幌本店 1F インナーガーデン

【ゲ ス ト】 長田直樹（北海道大学大学院情報科学研究院 准教授）

【聞 き 手】 CoSTEP 対話の場の創造実習受講生

【主 催】 北海道大学大学院教育推進機構オープンエデュケーションセンター
科学技術コミュニケーション教育研究部門 (CoSTEP)

【対 象】 高校生以上

- 【人 数】** 30 人
- 【参加費】** 無料
- 【言語】** 日本語（同時通訳なし）
- 【申込方法】** WEB による事前申込制。申し込み多数の場合は抽選。申込締切 9/14（水）。
以下の URL よりお申込みください。
<https://forms.gle/G9U89QfFKfLDMAHj9>
- 【備 考】** 新型コロナウイルス感染状況次第で、オンライン開催に切り替える可能性があります

お問い合わせ先

北海道大学大学院教育推進機構オープンエデュケーションセンター

科学技術コミュニケーション教育研究部門（CoSTEP） 担当：古澤正三（ふるさわしょうぞう）

T E L 011-706-5320 F A X 011-706-5320 メール s.furusawa@open-ed.hokudai.ac.jp

配信元

北海道大学社会共創部広報課（〒060-0808 札幌市北区北 8 条西 5 丁目）

T E L 011-706-2610 F A X 011-706-2092 メール jp-press@general.hokudai.ac.jp